

ボランティアだより岸和田

地域のイベント・ボランティア情報が満載!



ポッポ
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティア
センター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
市立福祉総合センター 2 階
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.
onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会

3年ぶりに対面で総会

第22回岸和田市ボランティア連絡会の総会が、6月11日(土)に開催されました。コロナで去年も一昨年も書面による決裁でした。

永野市長をはじめとして、来賓もお招きして3年ぶりに顔を合わせての総会となりました。

第1部では昨年度の事業報告・決算および今年度の事業計画・予算について質疑応答があり、ともに承認されました。



岸和田市ボランティア連絡会 上月会長

グループの活動紹介

第2部では、出席グループが映像を使ったりしながら、活動内容を発表しました。舞台の画面に写真や動画を映しながらの紹介は初めての試みです。コロナ禍で、施設訪問をするグループでは、ボランティアそのものができなくなりました。どのグループも当たり前にしてきたことが、同じようにはできなくなりました。

この3年間に活動の方法や内容を見直し、工夫し、新しい挑戦も生まれました。役員会にさえ集まれず、オンライン会議など機器の利用が進んだのには、コロナの後押しもあったようです。総会に出席できなかったグループからも、委任状とともに、多くのメッセージが送られてきました。悩み・工夫しただけに、各グループには伝えたいことがいっぱいです。

会って話して踏み出す一歩

他のグループの活動を知って、一緒に活動できることがありそうだと発表したグループもありました。顔を合わせて話すことで、新しい活動につながる可能性が見えてきます。

総会終了後、ちょっとした同窓会のように、あちこちでお互いの活動報告に花が咲きました。最新の生の情報のやりとりをすることになります。困りごとには多くの共通点があり、お互いにヒントをもらい、刺激をもらいます。それは、これからの活動に向けての種まきです。

(編集委員 川口)

ホームスタート・きしわだ 講演会&説明会のお知らせです。

ホームスタートとは、家庭訪問型子育て支援のこと。地域で子育て家庭を支え、寄り添う活動です。

地域の人たちに私たちの活動を知ってもらいたい!

岸和田の未来をつくる課題解決プロジェクト助成を受け開催します。

講師 辻 由起子さん

(社会福祉士・大阪府子ども家庭サポーター)

「今 必要な子育て支援とは」

実践の中で出会ったママたちに寄り添ってきたリアルなお話をお聞きします。

地域のおせっかいおばちゃんたちの輪がひろがりますように♡

日程 10月6日(木) 10時~12時

場所 福祉センター

対象 子育て支援に関心のある人・子育て中のママさん

定員 30名(保育有)

お問合せ 特定非営利活動法人ここからKit

☎072-477-4776

メールでのお申込みもOKです。

QRコードよりどうぞ!



家庭訪問型子育て支援ボランティア養成講座も受付中です。11月10日(木)~令和5年2月16日(木)14日間の午前中です。

受講費：無料

*詳細はホームページをご覧ください。



市民活動 ステーション

コラボ

テーマ 「楽しくコラボ」

内容 ボランティア募集PRタイムと
座談会(予定)

開催日 12月10日(土)14時~16時

会場 福祉センター



実行委員募集

市民活動ステーション コラボは、さまざまな活動が岸和田市内で展開されていますが、活動実践者同士をつなぎ新たなコラボレーションを生み出すことを目的に実施しています。

実行委員は、年2回(8月・12月)にコラボを開催するための隔月程度で企画を考えるための実行委員会を開催します。

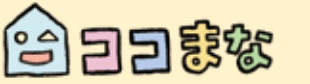
ご自身も活動実践者でコラボレーションを実践者目線で考えたい方や他の市民活動の理解を深めたい方、イベント企画をしてみたい方などなど興味がありましたら、ボランティアセンターへご連絡ください。

市民の力で一緒に地域の輪をつなげていきましょう。

問合せ ボランティアセンター 072-430-3366

フリースクールココまなより ボランティア募集のお知らせです!

趣味や得意なことを生かして、
ココまなの活動をサポートして
もらえませんか?



日程 毎週火曜日・木曜日10時30分~14時15分、
毎週土曜日9時~11時

場所 岸和田市八幡町17-37(春木中学校より徒歩5分)

活動内容 学校に行きづらくなっている子どもたちと一緒にクッキングや作品づくりなどをしながら過ごしたり、学習支援をしています。



<こんな方を探しています!>

- ・クッキング活動や羊毛フェルトやビーズの作品作りのサポートをしてくれる方。
 - ・自分の趣味を生かして、子どもたちの興味を広げてもらえる方。(例:釣り、お花、習字、絵など)
 - ・一緒にボードゲームをしたり、お話をしながら、子どもたちを温かく受け止めてくれる方。
 - ・スクール内の掃除、庭の整備を担ってくれる方。
- 関わり方は様々です。活動への参加頻度をご相談ください。少しでもココまなの活動に興味を持っていただけた方は、ぜひご連絡ください。

4月号を見てご連絡いただいた方、
ありがとうございました!
まだまだボランティアさん募集中です!

TEL: 050-3702-5587

MAIL: cocomanaschool@gmail.com

ボランティアだより

編集委員募集

本紙の編集委員を募集します。

年3回(4・7・10月)岸和田市内のボランティアに関する情報を発信しています。

編集委員は、活動の取材や記事作成、校正など紙面の作成をしています。

ボランティア活動や紙面作成に興味がある方で参加を希望される方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。ボランティア活動を現在しているかどうかは問いません。市民目線の情報発信にご協力ください。

問合せ ボランティアセンター 072-430-3366

0 編集後記

新型コロナが落ち着いたかと思えば、変異して流行したりと思うように活動ができない状況で、閉塞感を感じていました。また、子どもが被害者となるニュースを目にする回数が増えた気がします。

2・3面で特集しました地域で未来を支えるフォーラムは、子どもに関わるボランティアグループが集まって、子どもを取り巻く社会的課題を市民の皆さんに知ってもらう機会として開催しています。会場とWEBのハイブリッド開催で参加方法も選んでもらえるように工夫しています。本紙や実際にフォーラム参加して、多くの人々に未来の担い手である、「子どもの将来」を支えてもらいたいと思います。

(事務局 藤澤)

【ボランティアセンターは水・日・祝はお休みとなっております。】

地域で未来を支えるフォーラム

第1回 地域で未来を支えるフォーラムが6月18日(土)に福祉センターで開催されました。

今回は「誰もが自分らしく、多様性を認め合って生きる」をテーマにLGBTQ、性的マイノリティの問題について取り上げました。

司会者はレインボーカフェin岸和田の代表でLGBTQの方々の居場所づくりをされている助産師の津田育久子さん、登壇者は産婦人科医でジェンダー外来にも注力されている藤田圭以子さんとXジェンダー当事者のひまわりさんです。

●日本の教育・医療の現場において



藤田圭以子さん

1979年に文部省が発行した生徒の問題行動に対する基礎資料で、「同性愛は倒錯型非行であり、発達を阻害する恐れがある。医療による治療が望まれる」と記されていた。1994年にこの文言は削除された。そして2015年に「性同一性障害の児童生徒への対応実施に関する通知」が出されたが、教育関係現場ではその通知を理解している先生は20%を下回る。

多忙な先生にとって最新の知識を得る研修への参加も難しそう。生徒が勇気を出してカミングアウトしても、本人の承諾なく先生間で情報共有をする。これはやってはいけない「アウトティング」。知識の乏しさが間違った対応につながり、当事者を取り巻く問題を悪化させる。そもそもLGBTQの人たちが身近にいることが想定できていない。

学校・職場・社会医療の現場では…

- ・一橋大学アウトティング事件で大学生が自死
- ・社内健診でみんなと一緒に廻るのがつらい
- ・見た目は女性だが保険証をみると男性のため、医療機関が利用しにくい

社会全体の枠組みが整うまで待つのではなく、学校の先生や市役所の窓口、病院のスタッフは身近にある当事者にとっての苦痛に目を向けて対応してほしい。自身の性について悩んでいる人が世界に1割は存在するということを知ってほしいと話されていた。もちろん、学校にも身近な社会にも。

●日本の法改正は…

2003年には戸籍上の性別表記の変更を可能にする「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が成立。性別変更には手術やホルモン剤の投与など身体へ大きな負担を伴う必要条件があり、現在も変わらず施行されている。国連の自由権規約委員会が「性的指向の差別禁止」、WHOが「性別変更に手術を必要条件とするのは人権侵害。手術の撤廃を」と日本政府に勧告しているが、法改正が進んでいない。

●ひまわりさんの体験談

現在は外資系の会社で技術を活かし、現場仕事に就いている。笑みを浮かべながらXジェンダーとして今あるのは周りの皆さんに支えられて暮らしてきたから、とお話されていた。

小さいころから優しい子だと言われていた。自分の周りの人に積極的にコミュニケーションをとってきた。30代までは周りに合わせる生活をしてしんどかった。趣味の一人登山で救われることが多かった。母は感ずるものがあつたと思う。母の死期が近くなり「好きに生きてね」と言ってくれた。最後までカミングアウトはできなかった。母の死後かねてから望んでいた女装を試みた。化粧の仕方などわからないことが多かったけど、店員さん、美容師さんが親身に手伝ってくれた。ご近所、職場、病院…出会う人には感謝とともに生き方を伝えている。「車の両輪なんです」とひまわりさんは言う。



ひまわりさん

なりたい自分 ↔ 他者への配慮

一方的になりたい自分を意識するのではなく、周りの人の考えや気持ちを想像する。まずは声かけ、違いが分かった上で避けるのではなく自分から相手に寄る。

自分は理解されていないと嘆かない ↔ 他人をどれくらい理解できているの？

自分を誰も理解してくれないと不満や不安を抱えるのではなく、自分が他の人をどれくらい理解できているか問うてみる。人として細やかな心配りができているだろうか。

お天道様は見ています。利己的ではなく利他的に、損得より尊徳。草の根運動のように粘り強く行動していきます。と締めくくられた。

●ひまわりさんのお話を聞いて

ひまわりさんの話に引き込まれて聞き入った。生き方ではなく暮らし方なんですとも表現され奥深い言葉づかいだと思う。人としてみんなひまわりさんのように考えられたら暮らしやすい世の中なのにと強く思った。ジェンダー問題は新聞などで毎日のように取り上げられている。性的マイノリティだけでなく社会的な男女の格差を是正する取り組みも含めて機運が高まりつつあるように思う。

岸和田の地でこのようなフォーラムが開催された。次に行動を起こす人たちに繋がるお手伝いが出来たらいいなと思った。

レインボーカフェin岸和田に遊びに行つて悩みの共有や多様性を感じてみませんか？いろいろな気付きもあるかもしれませんよ。

第2回は10月1日にテーマは不登校、第3回は年明けを予定しています。乞うご期待！

(編集委員 中川)

レインボーカフェ in 岸和田は第4土曜日に大宮地区公民館で開催です。

LGBTQ

・性的マイノリティ(少数者)の総称のひとつ。L(レズビアン・女性同性愛者)、G(ゲイ・男性同性愛者)、B(バイセクシャル・両性愛者)、T(トランスジェンダー・出生時の身体的性と性自認が異なる)、Q(クィアやクエスチョニング)の頭文字をとった。

Xジェンダー

・性自認が、男性とも女性ともはっきりと当てはまらない人

カミングアウト

・人に知られたくないことを自分自身で告白または公表すること

アウトティング

・カミングアウトの内容を本人の了解を得ずに第三者に言いふらしたり、SNSなどに書き込み暴露すること。

